

# ひみのふくし

# 8

2022 Aug  
No.408

企画・発行

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会

〒935-0025 富山県氷見市鞍川975

TEL 0766-74-8407

<http://www.himi-shakyo.jp>

この広報誌は皆さんからの会費、  
共同募金の助成金により発行  
されています。



▲ 参加者が作成した切り絵 「私も作りたい! すごいね!」と会話が弾みます

## 「みんなで笑うとたのしいね」

上庄地区社会福祉協議会では、コロナ禍で住民同士のふれあいの機会が減少する中、閉じこもり予防や交流を目的に、令和2年度から住民が気軽に集える「地域サロン」の設置を各地区で進めています。

七分一サロンは、「地区住民の特技を披露できる場」が特色で、手芸や切り絵の展示、手作りお菓子を味わう等、和やかな雰囲気サロンです。また、自治会や老人会も共催し、男性参加者も多く、誰もが楽しめる集いの場となっています。

## ♡CONTENTS♡

◆ 朝日丘校区社会福祉協議会 35年の歩み …2ページ

◆ 「地域共生社会」の実現を目指して

◆ 遊休品バンク「Eくすちゃー⇄Eかすちゃー」の紹介 …3ページ

◆ みんな集まれ!! 出張ボランティアセンター

◆ 各種お知らせ …4ページ



# 朝日丘校区社会福祉協議会 35年の歩み

朝日丘校区社会福祉協議会は、35周年の節目を迎え、5月28日(土)に「朝日丘校区社会福祉協議会35周年記念式典」と「集いの会」を開催しました。



日本福祉大学  
原田 正樹 教授

長く氷見市の地域福祉に関わる、日本福祉大学 原田 正樹教授のビデオメッセージが披露され、その中で朝日丘校区社協の地域福祉実践の三つの特色があげられました。

一つ目は、子どもに対する支援を丁寧に行ってきたことです。

「ここがスゴイよ！  
朝日丘!!」

式典では、昭和62年の設立からの活動を振り返り、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていく決意を新たにしました。活動に関わる住民が集まり開催された「集いの会」では、富山短期大学 関好博教授による講演や、理想の朝日丘を語るグループワークを行いました。

理想の地域を  
語り合う

地区子育てサークル「どんぐりサロン」や子ども食堂など、次代を担う子どもを大切にしたい地域づくりを進めてきました。

二つ目は、住民一人ひとりの生活を支えていることです。イベント事だけでなく、個人の生活の困りごとに対して、ケアネット活動を中心に支援を行ってきました。そして三つ目は、個人の困りごとに対応する中で見えた地域の課題に対し、地域ができることを仕組みとしてつくりあげてきたことです。「外出支援サービス」や、集いの場「まちなかサロンひみ」など、新たな活動の積み重ねが、誰もが安心して暮らすことのできる朝日丘の実現につながっています。



コロナ禍前の子ども食堂の様子

## 「集いの会」の様子



朝日丘校区社協  
南市 牧 会長の挨拶



富山短期大学 関 好博 教授  
講演「朝日丘に恋をしよう」



グループワークで  
理想の朝日丘を語り合いました



動画で35年の取り組みを  
振り返りました!

「ここからはじまる  
新たな挑戦」

現在、朝日丘校区社協は、校区の福祉計画策定を進めています。各町での意見交換会やアンケート調査を実施し、計画に住民の意見を取り込む工夫をしています。朝日丘校区社協の住みよい地域づくりの挑戦はこれからも続いていきます。





# 「地域共生社会」の実現を目指して

氷見市における「地域共生社会」の実現を目指した機能や取り組みなどをシリーズで紹介します。今回は「包括的支援体制づくりのポイント」について紹介します。

## 地域と行政、福祉専門職をつなぐ機能

地域共生社会の実現には、誰もが人や社会とのつながりを持ち、孤立しない(させない)地域をつくるために、住民や専門機関、行政が協働することが大切です。これまでは、主に地域のみなさんによる支え合いの取り組みを紹介してきましたが、今回からは行政や専門職が担うポイントについて紹介します。

### 氷見市の相談支援の中核的機能

氷見市では、市全体の支援機関・地域の関係者からの相談を断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築するため、ふくし相談サポートセンター（以下、センター）を相談支援業務の中核的機能として位置付けています。このセンターは、市の福祉介護課、子育て支援課等と氷見市社会福祉協議会との官民協働により、平成26年度から、設置・運営しています。

センターには本人や世帯からの相談の他、地域による支援や単一の支援機関では対応が難しい複雑化・複合化した世帯への対応など、地域や支援機関からの相談が多くなってきています。

次回より、センターの体制や具体的な業務について紹介をしていきます。

#### ふくし相談サポートセンターの主な役割

- 1 相談窓口が不明瞭な困りごとや、困りごとがいくつもありどこに相談したらよいかわからないといった方々などからの相談対応
- 2 支援チームの調整
- 3 制度と制度の狭間を埋めるサービス開発

#### このような相談に対応しています

- 家族それぞれの困りごとが絡み合っていて、どこから手をつけたらよいかわからない。 → **複雑化した困りごと**
- 困りごとがいくつもあり、どこに相談したらよいかわからない。 → **重複した困りごと**
- 心配で様子を見に行くが、関わりをもってくれない。 → **支援の拒否**

#### 遊休品バンク

## 「Eくすちや」⇔「Eかすちや」の紹介

遊休品バンク「Eくすちや⇔Eかすちや」は、市民の皆さんからいただいた日用品や家電等を、緊急に支援を必要とする方や施設に提供する事業です。

寄付から提供までの流れ

- 1 まずは氷見市ボランティア総合センターへ連絡下さい。  
物品の確認に何う日程を調整します。
- 2 スタッフがご自宅へ伺い、物品を確認し引き取ります。  
物品の状態によっては受け取れない場合があります。
- 3 支援担当者を通して、市内の支援を必要とされる方や、地域福祉活動等に物品が役立てられます。

**急募!!**

- 冷蔵庫(小型、中型)
- 洗濯機
- テレビ  
(できれば30~42型ぐらいのもの)
- 保存食品  
(レトルト食品、インスタント食品、玄米、乾麺など)  
※賞味期限が1ヶ月以上で未開封のもの

上記以外の物品も随時受付中です。  
みなさんのご協力をお願いいたします。

#### Information

氷見市ボランティア総合センター

〒935-0011 氷見市中央町12-21(氷見市いきいき元気館内)  
TEL:74-1800 FAX:74-8055 受付時間 平日8:30~22:00



みんな  
集まれ!!

# 出張ボランティアセンター

気軽に寄ってボランティア活動を体験してみませんか?  
新しい発見や出会いがあるかもしれません。



日時 **8月27日(土)** 場所 **ハッピータウン氷見ショッピングセンター**  
10:00~15:30 (氷見市幸町9-78)

## 知ろう! ボランティア活動 体験コーナー

- ボッチャ体験 ● ハンドマッサージ体験

## 募金・寄付の ご協力をお願いします

- 保存食品の寄付受付
- インクカートリッジ/古切手回収
- 赤い羽根共同募金の紹介

## ボランティアに関する相談に お答えします

- ボランティア活動に参加したい、ボランティア活動を依頼したい等の相談受付
- ボランティア登録受付(個人/団体)



ひみボランティア  
マスコット「ぼーの」

楽しいブーネが盛りだくさん!!

### Information

氷見市ボランティア総合センター

## つくってみよう! 制作コーナー

- ひみボランティアマスコット「ぼーの」折り紙
- 折り紙ストラップ
- 来場者でつくる展示物



〒935-0011 氷見市中央町12-21 (氷見市いきいき元気館内)  
TEL: 74-1800 FAX: 74-8055 受付時間 8:30~22:00

## お盆休館日のお知らせ

**8月14日(日)~16日(火)**  
社会福祉会館・こども館きらら  
寿養荘・障害者福祉センター我家

## 令和3年度氷見市社会福祉協議会決算報告(資金収支計算書)

| (収入の部)           |             |        |
|------------------|-------------|--------|
| 科 目              | 決算額(円)      | 構成比(%) |
| I. 経営活動による収入     | 361,285,437 | 100%   |
| 1. 会費収入          | 4,371,240   | 1.2%   |
| 2. 寄付金収入         | 427,726     | 0.1%   |
| 3. 経常経費補助金収入     | 54,722,878  | 15.2%  |
| 4. 受託金収入         | 146,456,898 | 40.5%  |
| 5. 事業収入          | 9,693,875   | 2.7%   |
| 6. 負担金収入         | 529,825     | 0.2%   |
| 7. 介護保険事業収入      | 113,760,973 | 31.5%  |
| 8. 保育事業収入        | 7,679,780   | 2.1%   |
| 9. 障害福祉サービス事業等収入 | 21,376,010  | 5.9%   |
| 10. 受取利息配当金収入    | 772,622     | 0.2%   |
| 11. その他の収入       | 1,493,610   | 0.4%   |
| II. 施設整備による収入    | 2,770,000   |        |
| III. その他の活動による収入 | 10,900,000  |        |
| 収入合計             | 374,955,437 |        |
| (支出の部)           |             |        |
| 科 目              | 決算額(円)      | 構成比(%) |
| I. 経営活動による支出     | 367,974,747 | 100%   |
| 1. 人件費           | 259,900,969 | 70.6%  |
| 2. 事業費支出         | 46,131,101  | 12.5%  |
| 3. 事務費支出         | 52,117,677  | 14.2%  |
| 4. 助成金支出         | 9,798,000   | 2.7%   |
| 5. 負担金支出         | 27,000      | 0.0%   |
| II. 施設整備による支出    | 13,442,970  |        |
| III. その他の活動による支出 | 1,081,214   |        |
| 支出合計             | 382,498,931 |        |

## ご寄付をありがとうございます

令和4年6月1日~30日受入分(敬称略・受付順)  
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

【福祉基金】 匿名 1,000円  
【ボランティア寄付金】 匿名 1,000円  
匿名 622円

地域福祉の推進に活用させていただきます



## 今月の表紙レビュー

### 七分一 特技を活かすサロン

今後も地区住民の意見を取り入れながら、無理なく、みんなで  
楽しめるサロンを目指します。



地区の風景や名所の写真で作った絵合わせを楽しむみなさん